

令和8年度

学 習 案 内

(シラバス)

1年



鴻巣市立松原小学校

第1学年

【各教科などの目標】

教科など	目標及び松原小重点項目
国語	○事柄の順序を考えながら話す、大事なことを落とさないように聞く、順序が分かるように注意して書く、順序や場面の様子などに気付きながら読むなどの力や態度を育てます。 ☆文章を読む力、書く力、自分の思いを表現する力をつけます。
算数	○具体物を用いた活動などを通して、加法減法・量の大きさ・図形等についての豊かな感覚を育てます。 ☆基礎・基本を身につけ、思考力を高めるために、問題解決的な学習を工夫します。
生活	○具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる味方・考え方を生かし、自ら自立し生活を豊かにすることを目指します。 ☆自分を見つめる力を育てるために、子どもの思いや願いを大切にし、具体的な活動や体験を工夫します。
音楽	○音楽に触れたときにわき起こる子どもの自然な心の思いを体全体で表現する身体表現や遊び歌を取り入れながら、音楽の楽しさを感じることができるようになります。 ☆豊かな情操を養うために、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てる活動を工夫します。
図画工作	○自分の表現方法でつくりだす喜びを味わい、体全体の感覚や技能などを働かせるようにします。作品を見ることに興味をもち、その楽しさを味わわせます。 ☆豊かな情操を養うために、子どものよさや可能性を自ら生かす活動を工夫します。
体育	○いろいろな運動遊びを、簡単な決まりや活動を工夫してできるようにし、体力を養います。また運動の中でだれとでも仲良くし、健康や安全に気をつけながら運動する態度を育てます。 ☆友だちと励まし合いながら、力一杯運動する態度を重視します。
道徳	○規則正しい生活をする事、友達と仲良く助け合うこと、みんなで使う物を大切にすること、約束やきまりを守ること、動植物にやさしい心で接することなどについて、自分事として考え、よりよく生活しようとする意欲や態度を育てます。 ☆話し合い活動を充実させ、考え議論する道徳を進めます。
特別活動	○学級の誰とでも仲良くして、みんなで活動することの楽しさを味わい、学校生活をより楽しいものにしようとする態度を育てます。 ☆学校生活を楽しく豊かなものにするために、一人一人の自主的・実践的な活動を工夫します。

家庭学習の手引き

1年

学習時間の目安
毎日15分程度

■お子さんは、こんな時期です■

- ☆ 何でも知りたがり、興味の幅が広がります。
- ☆ 頑張ったことや、良いところをたくさんほめて欲しいと思っています。
- ☆ 一人で学習することや学習の手順を考えることは、まだまだ難しい時期です。

◆一緒にいて、やる気をおこす◆

いっしょに、学習のやり方を確認しましょう。学校で学習したノートやプリントを見て、ほめてあげましょう。できたことや頑張ったことをほめることで、お子さんの意欲は高まります。

めあて

◆保護者と一緒に確認して楽しく学習する◆

① 学習の習慣を！

「家でも学習する」という習慣をつけましょう。

- ・少ない時間でもよいから学習に向かうようにする。
- ・一緒にできないときは、その日のうちに、やったことに目を通して、ほめる。

② 学習環境に配慮を！

学習する机や場所を「いつもの場所」として決めましょう。

- ・テレビは消して勉強する。
- ・気が散るようなゲームやおもちゃは片づける。

③ 家庭と学校で連携を！

学校からの連絡や配付物はお子さんと一緒に確認しましょう。

- ・毎日、連絡帳を開いて、保護者がサインをする。
- ・子どもの悩みや話をじっくり聞く時間を作り、気になることがあったら、早めに学校に相談する。

学年で身につけたい力

- ・鉛筆を正しくもち、力を入れて濃くはっきりと、ていねいに文字が書ける。
- ・ひらがな・カタカナがすらすら読めて、正しく書ける。
- ・助詞「てにをは」を正しく使い分けて、文が書ける。
- ・配当漢字を読むことができ、文や文章の中で使うことができる。
- ・大きな声ではっきりと音読ができる。
- ・読書を楽しむことができる。
- ・「10はいくつといくつ」がすぐにわかり、スムーズに唱えることができる。
- ・たし算、ひき算の計算、繰り上がり、繰り下がりの計算ができる。
- ・生活の中でたし算やひき算の問題をつくり、解くことができる。



かていがくしゅうのてびき【1ねんせい】

がくしゅうじかんのめやす まいにち15ふんていど

<p>こ く ご</p>	<p>【おんどく】 ○たのしみながら、大きなこえでよめるようにしましょう。 ○くとうてん（「、」や「。」）にきをつけてすらすらよめるようにれんしゅうしま しょう。 ○まいにちつづけて、れんしゅうしましょう。</p> <p>【かくこと】 ○ただししいせいで、ていねいにゆっくりかきましょう。 ○ひらがな・カタカナをせいかくにかけるようにしましょう。 ○かんじを、ただしいかきじゅん・かたち・おくりがなでかけるように、ていね いにれんしゅうしましょう。 ○こくごのきょうかしょのぶんを、ただしくはやくかきうつせるようにれんしゅ うしましょう。</p>
<p>さ ん す う</p>	<p>○かずのよみかた、かきかたをれんしゅうしましょう。 ○まずは、ゆっくりたたくけいさんできるようにしましょう。 ○たたくけいさんできるようになったら、すこしずつはやくけいさんでき るようれんしゅうしましょう。 ○たしざん・ひきざんをれんしゅうしましょう。</p>
<p>そ の た</p>	<p>☆がくしゅうようたんまつのドリルにとりくみましょう。</p> <p>○たのしかったことやうれしかったことをじぶんのことばでえにっきやにっきに 書いてみましょう。 ○せいかつかがくしゅうにかんれんしておうちのしごとにチャレンジしましよ う。 ○なわとびやハーモニカのれんしゅうをしたり、どうしょくぶつのかんさつを したりしてみましょう。</p>

